

自由金利型定期預金（M型）規定 （スーパー定期）

1.（預金の支払時期）

自由金利型定期預金（M型）（以下「この預金」という。）は、証書または通帳記載の満期日以後に利息とともに支払います。

2.（利息）

（1）この預金の利息は、預入日から満期日の前日までの日数（以下「約定日数」という。）および証書または通帳記載の利率（以下「約定利率」という。）によって計算し、満期日以後にこの預金とともに支払います。

ただし、預入日の2年後の応当日から預入日の5年後の応当日までの日を満期日としたこの預金の利息の支払は次によります。

① 預入日から満期日の1年前の応当日までの間に到来する預入日の1年ごとの応当日を「中間利払日」とし、預入日または前回の中間利払日からその中間利払日の前日までの日数および証書または通帳記載の中間利払利率によって計算した中間利払額（以下「中間払利息」という。）を利息の一部として、各中間利払日以後に、あらかじめ指定された方法により次のとおり支払います。

なお、預入日の2年後の応当日を満期日としたこの預金（以下「自由金利型2年定期預金（M型）」という。）に限り、中間払利息を定期預金とすることができます。

A 現金で受取る場合には、当組合所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して証書または通帳とともに提出してください。

B 預金口座へ振替える場合には、中間利払日に指定口座へ入金します。

C 定期預金とする場合には、中間利払日にその自由金利型2年定期預金（M型）と満期日を同一にするこの預金（以下「中間利息定期預金」という。）とし、中間利息定期預金の利率は、中間利払日における店頭表示の利率を適用します。

② 預入日の3年後の応当日から預入日の5年後の応当日までの日を満期日としたこの預金を複利型とした場合のこの預金の利息は、前号にかかわらず、約定日数および約定利率によって6ヶ月複利の方法で計算し、満期日以後にこの預金とともに支払います。

③ 中間払利息（中間利払日が複数ある場合は各中間払利息の合計額）を差引いた利息の残額は、満期日以後にこの預金とともに支払います。

（2）この預金の満期日以後の利息は、満期日から解約日または書替継続日の前日までの日数および解約日または書替継続日における普通預金の利率によって計算し、この預金とともに支払います。

（3）この預金を第4条1項により満期日前に解約する場合および「反社会的勢力の排除に係る規定」により解約する場合には、その利息（以下「期限前解約利息」という。）は、預入日から解約日の前日までの日数および次の預入期間に応じた利率（小数点第4位以下は切捨てます。）によって計算し、この預金とともに支払います。なお、この預金のうち、複利型のこの預金の利息計算は、6ヶ月複利の方法により計算し、この預金とともに支払います。ただし、中間払利息が支払われている場合には、その支払額（中間利払日が複数ある場合は各中間払利息の合計額）と期限前解約利息との差額を清算します。

① 預入日の1ヶ月後の応当日から預入日の3年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の場合

A 6ヶ月未満	解約日における普通預金の利率
B 6ヶ月以上1年未満	約定利率×50%
C 1年以上3年未満	約定利率×70%

② 預入日の3年後の応当日から預入日の4年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の場合

A 6ヶ月未満	解約日における普通預金の利率
B 6ヶ月以上1年未満	約定利率×40%
C 1年以上1年6ヶ月未満	約定利率×50%

- D 1年6ヶ月以上2年未満 約定利率×60%
- E 2年以上2年6ヶ月未満 約定利率×70%
- F 2年6ヶ月以上4年未満 約定利率×90%

③ 預入日の4年後の応当日から預入日の5年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の場合

- A 6ヶ月未満 解約日における普通預金の利率
- B 6ヶ月以上1年未満 約定利率×40%
- C 1年以上1年6ヶ月未満 約定利率×50%
- D 1年6ヶ月以上2年未満 約定利率×60%
- E 2年以上2年6ヶ月未満 約定利率×70%
- F 2年6ヶ月以上3年未満 約定利率×80%
- G 3年以上5年未満 約定利率×90%

④ 預入日の5年後の応当日を満期日としたこの預金の場合

- A 6ヶ月未満 解約日における普通預金の利率
- B 6ヶ月以上1年未満 約定利率×30%
- C 1年以上1年6ヶ月未満 約定利率×40%
- D 1年6ヶ月以上2年未満 約定利率×50%
- E 2年以上2年6ヶ月未満 約定利率×60%
- F 2年6ヶ月以上3年未満 約定利率×70%
- G 3年以上4年未満 約定利率×80%
- H 4年以上5年未満 約定利率×90%

(4) この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割で計算します。

3. (中間利息定期預金)

(1) 中間利息定期預金の利息については、前記第2条の規定を準用します。

(2) 中間利息定期預金については、預金証書を発行しないこととし、次により取扱います。

- ① 中間利息定期預金の内容については別途に通知します。なお、印鑑はこの預金の届出印鑑を兼用します。
- ② 中間利息定期預金をこの預金とともに解約または書替継続するとき証書によるものは、証書裏面の受取欄に届出の印章により記名押印して当店に提出してください。通帳によるものは、当組合所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して通帳とともに当店に提出してください。
- ③ 中間利息定期預金のみを解約または書替継続するときも、前号と同様とします。

4. (預金の解約、書替継続)

(1) この預金は、当組合がやむを得ないと認める場合を除き満期日前に解約をすることはできません。

(2) この預金を解約または書替継続するとき証書によるものは、証書裏面の受取欄に届出の印章により記名押印して当店に提出してください。通帳によるものは、当組合所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して通帳とともに当店に提出してください。

(3) 次の各号の一にでも該当した場合には、当組合はこの預金取引を停止し、または預金者に通知することによりこの預金口座を解約することができるものとします。

- ① この預金口座の名義人が存在しないことが明らかになった場合または預金口座の名義人の意思によらずに開設されたことが明らかになった場合
- ② この預金の預金者が定期預金共通規定第6条第1項に違反した場合
- ③ この預金が法令や公序良俗に反する行為に利用され、またはそのおそれがあると認められる場合

(4) 前第2項および第3項により、この預金口座が解約され残高がある場合、またはこの預金取引が停止されその解除を求める場合には、証書または通帳を持参のうえ、当店に申出てください。この場合、当組合は相当の期間をおき、必要な書類等の提出または保証人を求めることがあります。

5. (規定の適用)

この預金には、本規定のほか、「定期預金共通規定」および「反社会的勢力の排除に係る規定」が適用されます。

6. (規定の変更)

- (1) この規定の各条項その他の条件は、金融情勢の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、当組合ホームページ掲載による公表その他相当の方法で周知することにより、変更できるものとします。
- (2) 前項の変更は、公表等の際に定める適用開始日から適用されるものとします。

自動継続自由金利型定期預金 (M型) 規定 (スーパー定期)

1. (自動継続)

- (1) 自動継続自由金利型定期預金 (M型) (以下「この預金」という。) は、証書または通帳記載の満期日に前回と同一の期間の自由金利型定期預金 (M型) に自動的に継続します。継続された預金についても同様とします。
- (2) この預金の継続後の利率は、継続日における店頭表示の利率とします。ただし、この預金の継続後の利率について別の定めをしたときは、その定めによるものとします。
- (3) 継続を停止するときは、満期日 (継続をしたときはその満期日) までにその旨を申出てください。この申出があったときは、この預金は満期日以後に支払います。

2. (利息)

- (1) この預金の利息は、預入日 (継続をしたときはその継続日。以下、第2条第1項および第2項において同じ。) から満期日の前日までの日数 (以下「約定日数」という。) および証書または通帳記載の利率 (継続後の預金については上記第1条第2項の利率。以下これらを「約定利率」という。) によって計算し、満期日に支払います。

ただし、預入日の2年後、3年後、4年後および5年後の応当日を満期日としたこの預金 (以下それぞれ「自由金利型2年定期預金 (M型)」、「自由金利型3年定期預金 (M型)」、「自由金利型4年定期預金 (M型)」、「自由金利型5年定期預金 (M型)」という。) の利息の支払は次によります。

 - ① 預入日から満期日の1年前の応当日までの間に到来する預入日の1年ごとの応当日を「中間利払日」とし、預入日または前回の中間利払日からその中間利払日の前日までの日数および証書または通帳記載の中間利払利率 (継続後の預金の中間利払利率は、継続後の預金の利率に70%を乗じた利率。ただし、小数点第4位以下は切捨てます。) によって計算した中間利払額 (以下「中間払利息」という。) を利息の一部として、各中間利払日に支払います。なお、自由金利型2年定期預金 (M型) に限り、中間払利息を定期預金とすることができます。
 - ② 自由金利型3年定期預金 (M型)、自由金利型4年定期預金 (M型)、自由金利型5年定期預金 (M型) を複利型とした場合のこの預金の利息は、前号にかかわらず、約定日数および約定利率によって6ヶ月複利の方法で計算し、満期日に支払います。
 - ③ 中間払利息 (中間利払日が複数ある場合は各中間払利息の合計額) を差引いた利息の残額 (以下「満期払利息」という。) は、満期日に支払います。
- (2) この預金の利息の支払いは、次のとおり取扱います。
 - ① 自由金利型2年定期預金 (M型)、自由金利型3年定期預金 (M型)、自由金利型4年定期預金 (M型) および自由金利型5年定期預金 (M型) 以外のこの預金の利息は、あらかじめ指定された方法により、満期日に指定口座へ入金するか、または満期日に元金に組入れて継続します。
 - ② 自由金利型2年定期預金 (M型) の中間払利息および満期払利息は、あらかじめ指定された方法により、次のとおり取扱います。
 - A 預金口座へ振替える場合には、中間利払日および満期日に指定口座へ入金します。

B 中間払利息を定期預金とする場合には、中間利払日にその自動継続自由金利型2年定期預金(M型)と満期日を同一にする自由金利型定期預金(M型)(以下「中間利息定期預金」という。)とし、その利率は、中間利払日における店頭表示の利率を適用します。

満期払利息は満期日に元金に組入れ、中間利息定期預金の元利金とともに合計して自由金利型2年定期預金(M型)に継続します。

- ③ 自由金利型3年定期預金(M型)、自由金利型4年定期預金(M型)および自由金利型5年定期預金(M型)の中間払利息は、中間利払日に指定口座に入金し、満期払利息および自由金利型3年定期預金(M型)、自由金利型4年定期預金(M型)および自由金利型5年定期預金(M型)を複利型とした場合の利息は、あらかじめ指定された方法により、満期日に指定口座へ入金するか、または、元金に組入れて自由金利型3年定期預金(M型)、自由金利型4年定期預金(M型)および自由金利型5年定期預金(M型)に継続します。
- (3) 継続を停止した場合のこの預金の利息(中間払利息を除く。)は、満期日以後にこの預金とともに支払います。なお、満期日以後の利息は、満期日から解約日または書替継続日の前日までの日数および解約日または書替継続日における普通預金の利率により計算します。
- (4) この預金を第4条第1項により満期日前に解約する場合および「反社会的勢力の排除に係る規定」により解約する場合には、その利息(以下「期限前解約利息」という。)は、預入日(継続をしたときは最後の継続日。以下同じ。)から解約日の前日までの日数および次の預入期間に応じた利率(小数点第4位以下は切捨てます。)によって計算し、この預金とともに支払います。なお、この預金のうち、複利型のこの預金の利息計算は、6ヶ月複利の方法により計算し、この預金とともに支払います。ただし、中間払利息が支払われている場合には、その支払額(中間利払日が複数ある場合は各中間払利息の合計額)と期限前解約利息との差額を清算します。
- ① 自由金利型3年定期預金(M型)、自由金利型4年定期預金(M型)および自由金利型5年定期預金(M型)以外の場合
- | | |
|-------------|----------------|
| A 6ヶ月未満 | 解約日における普通預金の利率 |
| B 6ヶ月以上1年未満 | 約定利率×50% |
| C 1年以上2年未満 | 約定利率×70% |
- ② 自由金利型3年定期預金(M型)の場合
- | | |
|---------------|----------------|
| A 6ヶ月未満 | 解約日における普通預金の利率 |
| B 6ヶ月以上1年未満 | 約定利率×40% |
| C 1年以上1年6ヶ月未満 | 約定利率×50% |
| D 1年6ヶ月以上2年未満 | 約定利率×60% |
| E 2年以上2年6ヶ月未満 | 約定利率×70% |
| F 2年6ヶ月以上3年未満 | 約定利率×90% |
- ③ 自由金利型4年定期預金(M型)の場合
- | | |
|---------------|----------------|
| A 6ヶ月未満 | 解約日における普通預金の利率 |
| B 6ヶ月以上1年未満 | 約定利率×40% |
| C 1年以上1年6ヶ月未満 | 約定利率×50% |
| D 1年6ヶ月以上2年未満 | 約定利率×60% |
| E 2年以上2年6ヶ月未満 | 約定利率×70% |
| F 2年6ヶ月以上3年未満 | 約定利率×80% |
| G 3年以上4年未満 | 約定利率×90% |
- ④ 自由金利型5年定期預金(M型)の場合
- | | |
|---------------|----------------|
| A 6ヶ月未満 | 解約日における普通預金の利率 |
| B 6ヶ月以上1年未満 | 約定利率×30% |
| C 1年以上1年6ヶ月未満 | 約定利率×40% |
| D 1年6ヶ月以上2年未満 | 約定利率×50% |
| E 2年以上2年6ヶ月未満 | 約定利率×60% |
| F 2年6ヶ月以上3年未満 | 約定利率×70% |
| G 3年以上4年未満 | 約定利率×80% |

H 4年以上5年未満 約定利率×90%

(5) この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割で計算します。

3. (中間利息定期預金)

- (1) 中間利息定期預金の利息については、前記第2条の規定を準用します。
- (2) 中間利息定期預金については、預金証書を発行しないこととし、次により取扱います。
 - ① 中間利息定期預金の内容については別途に通知します。なお、印鑑はこの預金の届出印鑑を兼用します。
 - ② 中間利息定期預金をこの預金とともに解約または書替継続するとき証書によるものは、証書裏面の受取欄に届出の印章により記名押印して当店に提出してください。通帳によるものは、当組合所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して通帳とともに当店に提出してください。
 - ③ 中間利息定期預金のみを解約または書替継続するときも、前号と同様とします。

4. (預金の解約、書替継続)

- (1) この預金は、当組合がやむを得ないと認める場合を除き満期日前に解約をすることはできません。
- (2) この預金を解約または書替継続するとき証書によるものは、証書裏面の受取欄に届出の印章により記名押印して当店に提出してください。通帳によるものは、当組合所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して通帳とともに当店に提出してください。
- (3) 次の各号の一にでも該当した場合には、当組合はこの預金取引を停止し、または預金者に通知することによりこの預金口座を解約することができるものとします。
 - ① この預金口座の名義人が存在しないことが明らかになった場合または預金口座の名義人の意思によらずに開設されたことが明らかになった場合
 - ② この預金の預金者が定期預金共通規定第6条第1項に違反した場合
 - ③ この預金が法令や公序良俗に反する行為に利用され、またはそのおそれがあると認められる場合
- (4) 前第3項により、この預金口座が解約され残高がある場合、またはこの預金取引が停止されその解除を求める場合には、証書または通帳を持参のうえ、当店に申し出てください。この場合、当組合は相当の期間をおき、必要な書類等の提出または保証人を求めることがあります。

5. (規定の適用)

この預金には、本規定のほか、「定期預金共通規定」および「反社会的勢力の排除に係る規定」が適用されます。

6. (規定の変更)

- (1) この規定の各条項その他の条件は、金融情勢の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、当組合ホームページ掲載による公表その他相当の方法で周知することにより、変更できるものとします。
- (2) 前項の変更は、公表等の際に定める適用開始日から適用されるものとします。

以上

(令和2年4月1日現在)